

科目名	現代社会 Introduction to social sciences	科目コード	00070
-----	---	-------	-------

学科名・学年	全学科・第1学年
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・必履修・2単位
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義56、試験4】
教科書	ニュースタンダード 資料現代社会（実教出版）
補助教材	プリント、ビデオ、資料集、地図帳
参考書	授業中に指示

【A. 科目の概要と関連性】

- ・日本の憲法理念: 人権、近代民主主義の原理、日本国憲法、現代政治の諸問題
- ・地球世界: 国際政治、民族・人種問題、新旧の南北問題、貧困・飢餓・低開発問題、地球環境問題
- ・日本の社会の諸問題: 市場経済のしくみ、日本の財政と金融、社会保障の仕組みと問題

【B. 到達目標と学習・教育到達目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①社会や世界の仕組みと現状を学び、人類的に重要な問題を把握すること。	—	(a1,2,3)
②社会的な常識や問題意識および、良心的判断の基礎を獲得すること。	—	(a1,2,3)
③地球市民として、エンジニアの卵として人類や地球に優しい判断をし、意見を言えるようになること。	—	(a1,2,3)

【C. 履修上の注意】

この授業では君たちに市民社会的な常識や問題意識および、良心的判断の基礎となる社会科学的知識を獲得してもらうことがねらいです。自主的に、貧困・飢餓・低開発・紛争・地球環境などの人類的大問題について新聞や書物を読み、インターネットを検索し、テレビのニュースをみて、授業内容を拡充しておいて下さい。特に地理の知識は重要です（サッポロ、センダイ、ナゴヤ、オオサカ、キョウト、フクオカ、カゴシマ、オキナワ、ナハ等の重要な地名を漢字で書けるように）。

ノートの取り方について。ノートは提出しやすいように一冊ノートを使って下さい。日付と話題と板書内容を分かりやすく書き、授業で参考にする教科書や資料のページを忘れず書いて下さい。コメントや意見が書いてあると非常にいいです。

ノートは随時提出してもらいます。ビデオの感想文などもノートに書いて提出してもらいます。夏休みと冬休みには課題を出しますので、ノートに書いて休み明けに提出して下さい。

【D. 評価方法】

前期・後期各々の中間試験と期末試験（7割程度）、授業参加度（1割程度）、ノート提出（1割程度）、レポートなどの提出物（1割程度）で判定します。50点以上を合格点とします。

【E. 授業計画・内容】●前期

回	内容	備考
1	ガイダンス	
2	インターネット見学	
3	社会経済のあり方	
4	憲法原理：基本的人権の尊重、国民主権主義、平和主義	
5	立憲主義：民主主義、三権分立、市民権・自治	
6	政府の仕組み、選挙制度	
7	まとめと復習	
8	中間試験	試験時間：50分
9	平和主義：戦争の惨禍と戦争放棄、第9条の理解	
10	平和主義：新日米安保体制、世界の安全保障体制	
11	現代世界のグローバリゼーションと低開発、金融危機	
12	冷戦後の世界、宗教・民族紛争と難民問題	
13	飢餓・貧困・低開発問題：国連の貢献	ミレニアムゴールズ
14	新南北問題：アフリカ問題、サミット体制、まとめ	
—	前期末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	

●後期

週	内容	備考
1	基本的人権：自由権	
2	基本的人権：平等権	
3	基本的人権：社会権	
4	地球環境問題：諸問題、公害と社会的費用	
5	地球環境問題：宇宙船地球号、持続可能な開発	
6	世界的対策：温暖化対策、人間の開発、まとめと復習	
7	中間試験	試験時間：50分
8	日本経済の現状と諸問題、国民経済計算、グリーン GDP	
9	世界経済とグローバリゼーション：世界金融危機と不況	
10	日本の財政（政府一般会計の構造、財政破綻問題）	
11	日本の金融（長期低金利、世界金融危機問題）	
12	日本の社会保障（公的年金制度の破綻と改革）	
13	企業と労働者（技術革新と労働市場の変化、格差）	
14	まとめと復習	
—	学年末試験	試験時間：50分
15	試験解説と発展授業	